

第6学年 社会科学習指導案

日時 平成27年10月 8日(木) 6校時

児童 男9名 女7名 計16名

指導者 高橋 修

1 単元名 日本の歴史 「9 近代国家に向けて」

2 単元について

(1) 指導の目標と教材観

本単元は、学習指導要領の第6学年の内容(1)「我が国の歴史上の主な事象に対して、人物の働きや代表的な文化遺産を中心に遺跡や文化財、資料などを活用して調べ、歴史を学ぶ意味を考えるとともに、自分たちの生活の歴史的背景、我が国の歴史や先人の働きについて理解と関心を深めるようにする。」とあり、調べる内容として、「ウ 大日本帝国憲法の発布、日清・日露の戦争、条約改正、科学の発展などについて調べ、我が国の国力が充実し国際的地位が向上したことが分かること。」を受けて設定したものである。

江戸時代の後半ペリーの黒船来航をきっかけに開国した日本が、欧米の政策や文化を取り入れて近代化を進める中で、産業の発展や憲法の制定、国会の開設やそれに付随した社会運動、そして不平等条約を改正していく過程を学ぶ単元である。この時期の日本は、安定した200年続いた江戸幕府が倒れ、大きく社会や価値観が変化する。またこの時期、欧米では、市民革命・産業革命を経て蒸気を動力とする工場制機械工業の市場拡大が進む。その波が東アジアの日本やその周辺諸国に及ぶという世界情勢の大きな変化も、この時代に密接に関わってくる。明治政府の近代国家の体制づくりが、国際社会の中での地位向上につながる中で、日清・日露戦争が起き、後の15年戦争へとつながる発端にもなっている。明治政府の国づくりのねらいを明確にし、諸外国とのつながりや人々の考えや願いをつなげて学習を進めていきたい。

(2) 児童観

学級の児童は、6年生になり、その時代の暮らしや社会の様子から問題を見つけ、それにせまる適切な資料を見つけたり読み取ったりすることについて、グループ活動を取り入れて繰り返している。歴史に対しては、意欲的に興味を持ち、関連の本を読んで知識を持っている児童がいる反面、歴史用語に苦手意識を持ち、それが社会化学習の苦手意識につながっている児童も数名いる。グループ活動は社会科だけでなく、他教科でも話し合いながら調べ学習を繰り返している。その中で、分からない児童があった場合には教え合うこともできるようになってきた。しかし、自分の考えを表現することに消極的であったり、興味がそれで別な事項に関心がいってしまったりする児童も少なからずいる。歴史の事象に対する興味は大きく示すが、歴史的な事象のとらえ方は一面的、一元的で深くない。現在の自分たちの生活や国家・社会の基盤との関わり、歴史的事項同士の因果関係、周辺諸国のその当時の動向など多面的、俯瞰的に捉えられる子供は少ない。

(3) 指導観

本単元の指導に当たっては、まず復興教育「かかわる」の具現の⑭【復旧・復興へのあゆみ】の視点「震災津波で被害を受けた交通網や産業、住宅やまちの復旧・復興の状況を調べ、安全で生き生きしたまちづくりにかかわる。」に関連させて、指導時間を設定した、東日本大震災の復興の次の担い手となる子どもたちに、関東大震災の復興から学び取らせていきたいと思う。また、学習場面では、グループ活動を取り入れ、自分の考えと他の考えを比べたり確認したりしながら、考えを持

てない子へ配慮して学習を進めていきたい。資料の読み取り場面では、絵や写真などの資料を見つけることから始めて、文章資料の読み取りや複数の資料を関連付けて多面的に読みとることも目指したいと思う。本単元では、まず資料を複数提示し、その違いを比較検討させるなかで読み取りを深めたい。また、読み取る視点を児童に持たせたり、グループでの交流の時間を確保したりして、その中での気づきを社会的事象の多面的な見方へとつなげていきたい。終末の活動では、学習を振り返る場を設定し、分かったことや考えたことを再構成して自分の言葉で表現させ、確かな学力を育んでいきたい。

＝考えを深める交流活動＝

- ① 写真や図、文章資料を複数準備し、視点を与えたり比較させたりして、児童の読み取りが深まるように工夫する。(資料活用の工夫)
- ② 問題解決に向けて、自分の考えを話したり、友だちの考えと比べたりしながら、交流学习が進められるように工夫する。(問題解決場面での交流活動)

3 単元の目標と評価規準

(1)目標

条約改正が達成されていく経緯や、周りの国々との関係の変化、産業の発展について調べ、国際社会における我が国の地位が向上していったことをとらえることができるようにする。

(2)評価規準

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	観察・資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
①条約改正を願う人々の思いや政府の取り組みに関心を持ち、意欲的に調べることができる。	①不平等条約がどのように改正されていくのかについて学習問題を考え、表現できる。 ②二つの戦争や産業の発展と、日本の国際的地位の向上との関連を考え、適切に表現できる。	①日本の領土の拡大が周りの国にどのような影響をあたえたのかについて、地図などから読み取ることができる。 ②復興の計画が、将来を考えた、災害に強い都市づくりになっていることを読み取ることができる。	①日清・日露戦争の経緯と結果、その影響を理解できる。 ②二つの戦争で勝利や不平等条約の改正などによって、我が国の国際的地位が向上したことを理解できる。

4 指導計画（7時間）

段階	時間	学習内容	評価規準及び評価の方法	主な資料等
導入	1	<p>条約改正までの動きに興味を持ち、学習問題をつくる。</p> <p>不平等条約の改正は、どのように進められたのだろうか。</p> <p>不平等条約は、どのようにして改正されたのだろうか。また、それによって、日本と世界の国々との関係は、どのように変わっていった</p>	<p>・発言の内容、ノートの記事内容から「条約改正を願う人々の思いや政府の取り組みに関心を持ち、進んで調べようとしているか」を評価する。</p> <p>【関一①】</p>	<p>ノルマントン号の絵 鹿鳴館舞踏会の絵 条約改正の年表</p>
展開	2 3	<p>日清・日露戦争について調べ、日本とまわりの国々との関係の変化をつかむ。</p> <p>日本は、なぜ二度にわたって戦争をしたのだろうか。</p> <p>日本は、朝鮮での勢力をめぐって清と対立し、日清戦争が起こった。戦争に勝利し、大陸への足がかりをつかんだことで、ロシアと対立し、日露戦争が起こった。</p>	<p>・ノートの記述内容から「二つの戦争の経緯と結果、その影響を理解しているか」を評価する。</p> <p>【知一①】</p>	<p>ビゴーの風刺画 日清戦争戦場図 日露戦争戦場図 領土変化の図</p>
	4	<p>日露戦争の影響や朝鮮併合の経緯を調べ、不平等条約が改正された背景や理由を考える。</p> <p>戦争のあと、日本と世界の国々の関係はどのように変わったのだろうか。</p> <p>日本は、日露戦争に勝利し、さらに朝鮮を併合した。国力を向上させていく中で、不平等条約の改正が達成された。</p>	<p>・ノートの記述内容から「日露戦争や朝鮮併合による影響を、多面的に考え、理解しているか」を評価する。</p> <p>【知一①】</p>	<p>日露戦争の絵 日清日露戦争の戦死者と戦費のグラフ 朝鮮の写真</p>

	5	<p>日本の産業がどのように発達していったのかを調べ、その影響について考える。</p> <div data-bbox="284 286 778 394" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>戦争によって、産業や人々の暮らしは、どのように変わったのだろう</p> </div> <div data-bbox="284 427 778 591" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>産業が発展し、人々の暮らしが近代化した。その一方で、公害問題が発生した。</p> </div>	<p>・ノートの記述内容から「産業の発展にともなって、近代的な生活が広がったことや、日本の国際的な地位も向上していったことを理解しているか」を評価する。</p> <p style="text-align: center;">【知一②】</p>	<p>製紙工場 八幡製鉄所 乗り合いバス 田中正造の写真 関東大震災の説明</p>
	6	<p>女性運動や全国水平社、普通選挙運動について調べ、その影響について考える。</p> <div data-bbox="284 801 778 909" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>社会の様子は、どのように変わったのだろうか</p> </div> <div data-bbox="284 943 778 1106" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>暮らしや社会の近代化が進み、民主的な社会を求めるさまざまな運動が起こった。</p> </div>	<p>・発言の内容、ノートの記述内容から「不平等条約の改正と、二つの戦争や日本の国力の向上とを結びつけて考え、表現しているか」を評価する。</p> <p style="text-align: center;">【思一②】</p>	<p>米騒動の絵 全国水平社写真 平塚らいてうの写真 まとめの年表</p>
ま と め	7 本 時	<p>新平の立てた復興計画を調べて、関東大震災からの復興のねらいについてとらえる。</p> <div data-bbox="284 1285 778 1393" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>関東大震災後、どのように都市づくりがすすめられたのだろうか。</p> </div> <div data-bbox="284 1426 778 1635" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>震災後、防災を目的に道路を広くし、緑に囲まれた公園やコンクリートづくりの小学校をたくさんつくった</p> </div>	<p>・発言の内容、ノートの記述内容から「資料から、復興の計画が、将来を考えた、災害に強い都市づくりになっていることを読み取っているか。」を評価する。</p> <p style="text-align: center;">【技一②】</p>	<p>後藤新平の写真 震災直後の東京の写真 昭和通りと復興小学校の写真・図など</p>

5 本時の指導

(1) 本時の目標

関東大震災という大きな災害を経て、国土の保全・人命の救済という考え方で、後藤新平が未来を想定した防災の都市計画を行ったことを捉えることができる。

(2) 指導にあたって

- ・復興前と後の東京の写真、震災の様子を比較できるように提示し、関連付けて読み取らせるようにする。
- ・地図と文章資料を同時に提示し、それをグループの中で話し合わせることで、都市づくりのねらいを読み取らせるようにする。

(3) 本時の評価基準

評価の観点	評価規準【評価方法】	支援を要する児童への手立て
観察・資料活用 of 技能	発言の内容、ノートの記述内容から「資料から、復興の計画が、将来を考えた、災害に強い都市づくりになっていることを読み取っているか。」を評価する。 【技一②】	資料からの気付きから、どんなことが読み取れるかグループで相談させる。

(4) 本時の展開

段階	学習活動・学習内容	指導上の留意点 (◎評価) ◇研究	準備・資料
導入 5分	1 震災前と後の写真、関東大震災の動画を見ながら復興の道筋を予想する。 2 学習問題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 関東大震災後、どのように都市づくりがすすめられたのだろうか。 </div>	・震災前と後の東京の写真から復興の道筋を自分なりに考えさせる。	震災前と後の東京の写真 震災の動画 関東大震災時の火災地図

<p>展開</p> <p>35分</p>	<p>3 予想してノートに記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火災に強い都市づくりをする。 ・火災が燃え広がらないようにする。 ・安全に避難できるようにする。 <p>4 予想の発表をする。</p> <p>自分の考えた予想を発表する。</p> <p>5 復興後の道路の写真をみて、気付きをもとに、都市づくりのねらいを読み取りノートに書く。</p> <p><気付き></p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路の幅が広い。 ・中庭がある。 ・木が植えてある。 ・車が少ない。 ・たくさんつくった。 <p><読み取り></p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来、車が増えてもだいじょうぶなように。 ・避難路として。 ・火災を止めるため。 <p>6 隅田公園と復興後の小学校の写真をみて、気付きをもとに、都市づくりのねらいを読み取りノートに書く。</p> <p><気付き></p> <p>公園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広い。 ・木が植えてある。 <p>小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄筋コンクリート製。 ・大3、小5 0ヶ所以上作った。 <p><読み取り></p> <p>公園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑で囲んで緑で火を止める。 ・避難所として。 <p>小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小公園とセットで防災きよ点 ・火災に強くするためコンクリートにした。 <p>7 調べたことを発表し深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主に防災を目的に行われた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・予想をノートに書かせる。 <p>◇予想が出にくい場合は、近くの人と相談させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べるために、どんな資料が必要かもできるだけ予想させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・資料から気付いたことから、どのようにつくったかを読み取る。 <p>◇グループで、それは何のためかという読み取りの視点で調べさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地図と文章資料を提示する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>◎発言の内容、ノートの記述内容から「資料から、復興の計画が、将来を考えた、災害に強い都市づくりになっていることを読み取っているか。」を評価する。【技一①】</p> </div> <p>◇道路の読み取りと同じようにグループで相談しながら調べさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地図と文章資料を提示する。 <ul style="list-style-type: none"> ・学習問題や予想に立ち返り、震災後 	<p>復興後の昭和通の写真</p> <p>地図・文章資料</p> <p>隅田公園と復興小学校の写真</p> <p>地図・文章資料</p>
----------------------	--	---	--

	<p>・将来に向けた取り組みである。</p> <p>8 学習のまとめをする。</p>	<p>の復興のねらいは何かを考えてまとめをする。</p> <p>・復興の計画を進めたのは奥州市出身の後藤新平であることを伝える。</p>	<p>震災後の動画</p> <p>後藤新平の写真</p>
	<p>関東大震災後、防災を目的に道路を広くし、緑に囲まれた公園やコンクリート作りの小学校をたくさんつくった。</p> <p>9 ジャンプの課題について、グループで話し合う。</p>		
	<p>東日本大震災を経験した岩手県の沿岸のまちは、どのようなまちづくりを進めればよいのだろう。</p> <p>それぞれが考えた津波を防ぐための具体的な方法を考えさせ交流する。</p>	<p>◇想定外の震災津波の被害であることを確認し、防災の観点からグループで考えさせる。</p>	<p>東日本大震災当時の写真</p>
まとめ 5分	<p>10 今日のまとめをする。</p> <p>・学習を振り返り、感想を書く。</p>	<p>・感想を発表する。(指名)</p>	

(4)板書計画

<p>問題 関東大震災後、どのように都市づくりがすすめられたのだろう。</p>				
<p>震災前の東京の写真</p>	<p>関東大震災時の火災地図</p>	<p>昭和通の写真</p>	<p>○道路</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路の幅が広い。 ・木を植えている。 ・たくさんつくった。 ・火を止めるため。 ・避難路として。 	<p>まとめ</p> <p>震災後、防災を目的に道路を広くし、緑に囲まれた公園やコンクリート作りの小学校をたくさんつくった。</p>
<p>予想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元通りにした。 ・火災が燃え広がらないようにする。 		<p>隅田公園の写真</p>	<p>○公園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑に囲まれている。 ・大3、小50か所以上。 ・避難所として。 ・緑が火を止める。 	<p>東日本大震災当時の写真</p>
<p>震災後の東京の写真</p>		<p>復興小学校の写真</p>	<p>○小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンクリート製。 ・小公園とセットで防ぎよ点として。 	<p>新平の写真</p> <p>どのようなまちづくりをすすめればよいか。</p>